

[様式 2]

杉並区立 高井戸 中学校

令和 2 年度 野球 部の活動方針・活動計画

令和 2 年 7 月 23 日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
顧問	齋東 諒			
顧問	木村 大飛			
顧問				

2 部員数

1 年生 9 人 2 年生 14 人 3 年生 6 人 合計 29 人
(平成 31 年 4 月現在)

	男	女	合計
1 年	9	0	9
2 年	14	0	14
3 年	6	0	6
合計	29	0	29

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会の具体的到達目標
都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。区大会優勝。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、年間 1 回、部員が地域ボランティアに参加する。
自治体の交流を図るため、選手から何人か選抜チームに選ばれ、親善野球大会に参加する。

4 活動方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、モチベーションを高くもち、効率的で、理解できる最先端の練習方法を取り入れる。また、スポーツ医学や、栄養学、トレーニング学などを活用し、中学生に適した練習方法を考え、実施する。
- (2) 練習や試合等の計画
月に 2 回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。マシンなど機械を使った事故などの安全指導を行い、顧問が見ている中での使用を行う。軟式を使うバッティング練習では、ネットや、ヘルメットなどの着用、設置を義務づけ、安全に配慮させる。トスやTバッティングでは、ボールの上げ方や、立ち位置など指導し、安全に練習を行う方法を身につけさせる。常に練習に集中させ、声かけを図り、見ていない中でボールが当たることを防ぐ。バントでのバットの握りや、デッドボールの避け方、ベースへのスライディングなど試合の中で事故に繋がる可能性が高いものに関しては細かく技術指導を入れ、未然に事故を防ぐ。

6 活動計画

(1) 活動日： 月、水、木、土、(日)

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:00 (2時間)
休日 土 13:00～17:00 日 9:00～13:00
(4時間) (土日祝日は大会などで時間は変わります)

(3) 休養日： 火、金 (雨の日は休みになる場合がある。)

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	4	杉並区春季大会 部活動説明会
	5	部活動仮入部期間 部活動保護者会
	6	杉並区選手権大会
	7	区民祭
	8	ライオンズ杯
2 学期	9	杉並区秋季大会
	10	小学校Tボール大会ボランティア
	11	練習及び練習試合 教一杯
	12	冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習 交流自治体中学生親善野球大会
3 学期	1	練習及び基礎体力強化練習 野球部新年会
	2	練習及び練習試合 小学校部活動体験
	3	全日本予選大会 野球部お別れ会

(5) 参加予定大会

- ・全日本予選大会 (春 3月)
- ・杉並区春季大会 (春 4月)
- ・杉並区選手権大会 (夏 6月)
- ・区民祭 (夏 7月)
- ・ライオンズ杯 (夏 8月)
- ・杉並区秋季大会 (秋 9月)
- ・勝ち上がれば上部大会に出場 (都大会、関東大会、全国大会など)